

「イギリスの賢い歩き方

～私の感じたイギリスをご紹介します～」を開催しました



平成22年11月30日、香川大学生涯学習教育研究センター教授の清國 祐二先生を講師に迎え、「イギリスの賢い歩き方 ～私の感じたイギリスをご紹介します～」を開催しました。清國 祐二先生は、実際イギリスで暮らしていた頃の経験から、国の紹介や便利な情報など、お話をしてくださいました。

「イギリスは、質素な国・階級制の残る国・食事と天候の国・正規料金の無意味な国・福祉の国・独立心の旺盛な国なんです。」と、おっしゃっていました。階級制が残っているせいか、衣・食・住に関して質素に生活をしている人が多いようです。食事は日本人の舌に合わず、「食」に対するこだわりの違いも感じたようです。また、気候のこと、医療のことなど、経験を交えながら語ってくださいました。



便利な情報についても教えてくださいました。「2～3人のトラベルログでの宿泊がお得！」「オイスターカードでバスをうまく利用しよう！」「高速道路が無料のため車の旅が便利！」「田舎の方に行けばイギリスのよさがわかる！」など、お得な情報をたくさん聞くことができました。

最後に、先生の専門分野でもある「教育」についてお話してくださいました。5歳から16歳が義務教育で、9月から始まる3学期制になっているようです。一斉授業は少なく、子どもの能力や発達に合わせた習熟度でクラスを分けていることなど、日本の学校教育とは大きな違いがあることが分かりました。



日本と同じ島国でありながら、様々な価値観が違う国、イギリス。そんなイギリスの魅力にひかれた方もたくさんいたのではないのでしょうか。